

R-18
FOR ADULT ONLY



お姉ちゃん
の友達
は
新田美波



お姉ちゃん
の友達
は
新田美波

両親が旅行で不在のある日――

お姉ちゃんの友達でアイドルの新田美波さんが泊まりにきた

「わっ♡
弟くんカワイイ♡」

(目の前に本物の新田美波が…)

「新田美波です♡
よろしくね♡」

「えっと…
あの、新田さん…」

「美波って呼んで♡」

「み、美波さん
よろしくお願いします」

「あ…♡
お姉ちゃん♡」

近くで見る憧れの新田美波さんは美人で――

すっごくいい匂いがした

その日の夜
美波さんがお風呂に入ってる時――

美波さんのことが頭から離れなくて
悪いことだと分かっているにもかかわらず
脱衣所に忍び込んでしまった

(これがさつきまで美波さんが履いていたパンツ…)

(すぐに返せばバレないよね!)

美波さんのパンツを目の前にして我慢できず
そっと自分の部屋に持ち帰った――



(美波さんのパンツ…)

(まだ温かくて少し湿ってる…)

(それに—)

(なんだかいやらしい匂いがして
いつもよりおちんちんが大きくなってる…)

『はあ…はあ…』

(パンツでおちんちん擦るとすごく気持ちいい…)

『あっ！ あっ！』

(出ちゃう…っ！)

(こんなにいっぱい出たの初めて…
すごく気持ちよかった…)

(バレないように早く戻さなきゃ…)



夜、美波さんが部屋に遊びにきた――

『あの…お姉ちゃんは？』

「疲れてたみたいでもう寝ちゃった」

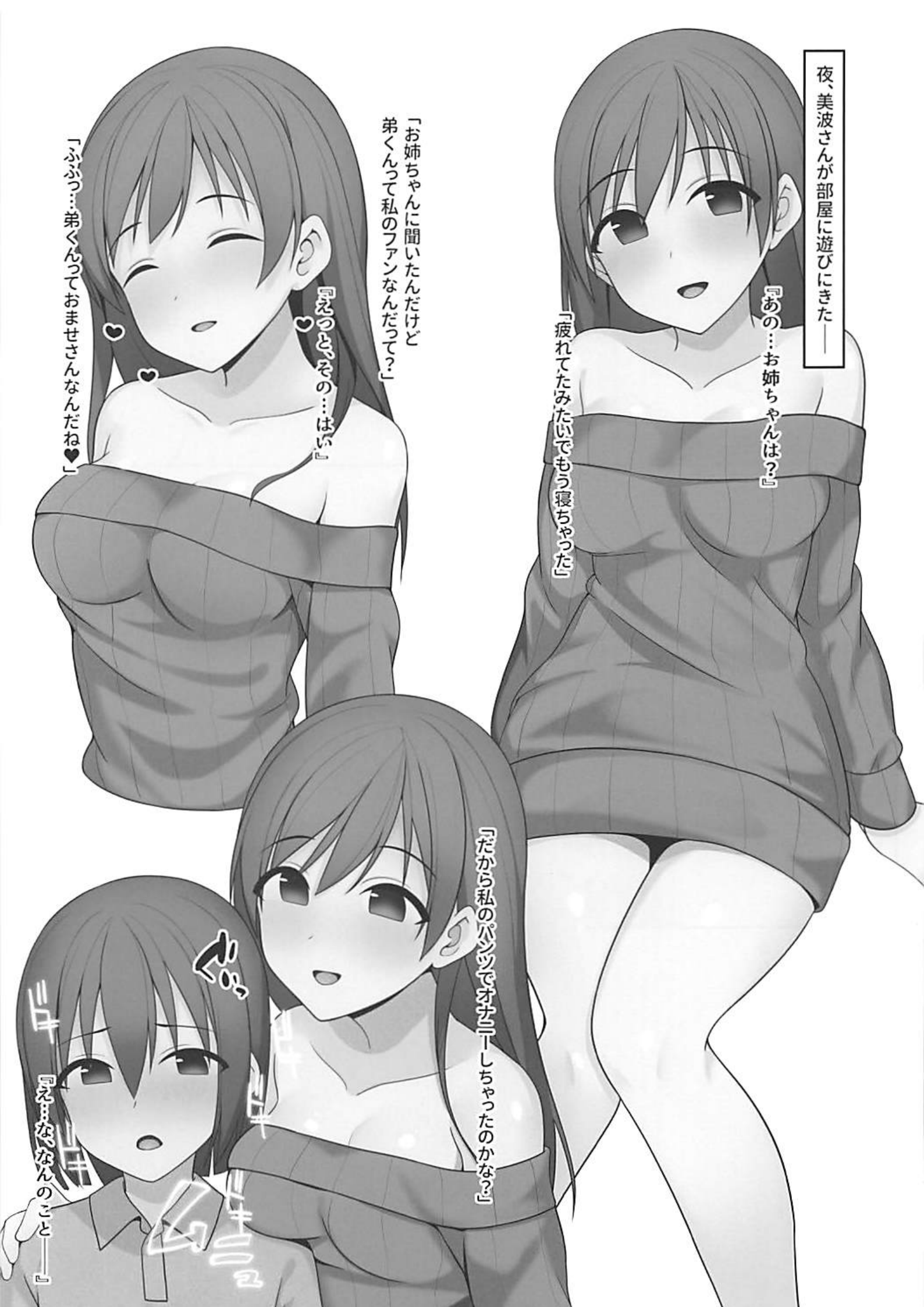
「お姉ちゃんに聞いたんだけど
弟くんって私のファンなんだって？」

『そのその…は？』

「ふふっ…弟くんっておませさんなんだね♡」

「だから私のパンツでオナニしちゃったのかな？」

『え？なんなんのこ』





(泣き顔カワイイ♡
イジメたくなっちゃう♡)

『ごめんさ、僕…』

「人の物を勝手に持ち出すのは泥棒だよ？」



『女の子で匂った敏感なんだよ』

「パンツから精液の匂いがしてだし、この部屋もエッチな匂いしてるよ…」



『反省してます。だから』

「そういう割には足にあたって硬いモノはなにかな？」



「なにがごめんなさいなのかな？」

『美波さんのパンツ盗んでオナニーしてごめんなさい…』

『うんうん♡
ちゃんと謝れてエライね♡』

『このことお姉ちゃんには内緒に…』

『これは体が勝手に…』

「黙っていてあげてもいいけど、悪い子にはちゃんとお仕置きしないとね…」

『あの…僕…』

「手をどけなきゃお仕置きにならないでしょ♥」

きき

「見られてるのにピンピンにさせるなんて変態さんだね♥」

『美波さん触られたり…あつ♥』

(子供だと思ってたけど立派なちんちんしてる…♥)

「弟くんのおちんちんすくく大きくなってるね
それに熱くてとても硬い…♥」

「ふふ♥ 撫でただけなのに
敏感なおちんちんだね♥」

『あ♥あ♥あ♥あ♥』

んやわ

あ

きき
きき

★



「そんな…気持ちよすぎて
もう…出ちゃうッ！」

「あゝあ、出ちゃった♡」

「お仕置きなんだから
良いって言うまで我慢しなさいダメでしょ」

「いめんない……」



(大人と比べて弟くんの精液は
「すこく青臭くて濃厚な香り…興奮してきちゃった♡」)

「まだまだ反省が足りてない
みたいだからお仕置き続行ね♡」

「んっ♡んぶ♡
すちゅ♡じゅん♡ん♡」



「美波さんこれ以上は…
僕頭おかしくなっちゃうよ…っ」

「ちつきよりもおちんちん熱くて
ビクビクしてる♡」

「お尻の穴ビクビクしておまんこみたい♡」

(弟くんのよがってる顔)

見るとソクソクしちゃう♡
小さい子を犯してるみたいで楽しい♡

「お尻の穴を指ちんちんで
犯されて気持ちいい?」

『気持ちいれすう…あっ♡』

『ああああ♡』

「ふふ♡ お尻の穴が指をきゅーって締め付けて
おちんちん苦しそうにビクビクしてる♡」

『なんかすごいキチャウ…♡』

「今度は我慢しないで
思う存分イッていいよ♡」

『美波さんっ…
美波さん僕もう…っ♡』

「きゃっ♡」

『んあっ…』

『はあああああっ♡』

『すっ…っ♡
潮吹きなんて初めて♡♡♡』

『んはああ♡
はあ♡ はあ♡』



ぬきぬき

ぬきぬき

ブルンッ

「ちょっと待ってね」

「おったんせん...
しょうがなんんだから♥」

「み、美波さん...?」

すま

「おったん♥」

「やりすぎちゃったお詫びに
好きに体を触っていいよ♥」

むにゅん

「ふふ…男の子って本当に
おっぱい好きなんだね♡」

「はあ…はあ…♡」

「おっぱいもいけいけいおっぱいも見て♡」

「おまんこがピクピクしてるぞ♡
女の子が男の子のおちんちん
欲しくなってる証拠なんだよ♡」

「弟くんのおちんちん入れてほしいな♡」

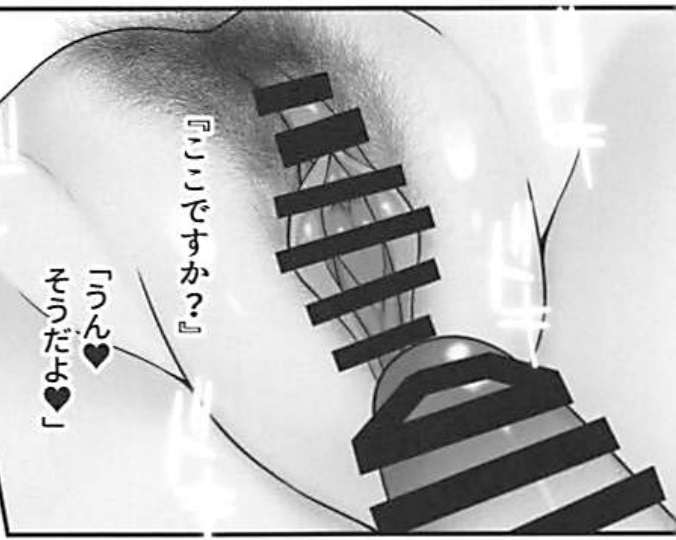
くぱああ♡





「い、入れます…っ」

「弟くんのおちんちんきたあ♥」



「ここですか？」

「うん♥
そうだよ♥」



「ふふ♥
私も弟くんの熱くて硬いおちんちんを
おまんこで感じてます♥」



「初めてのおまんこに入れた気分はどう？」

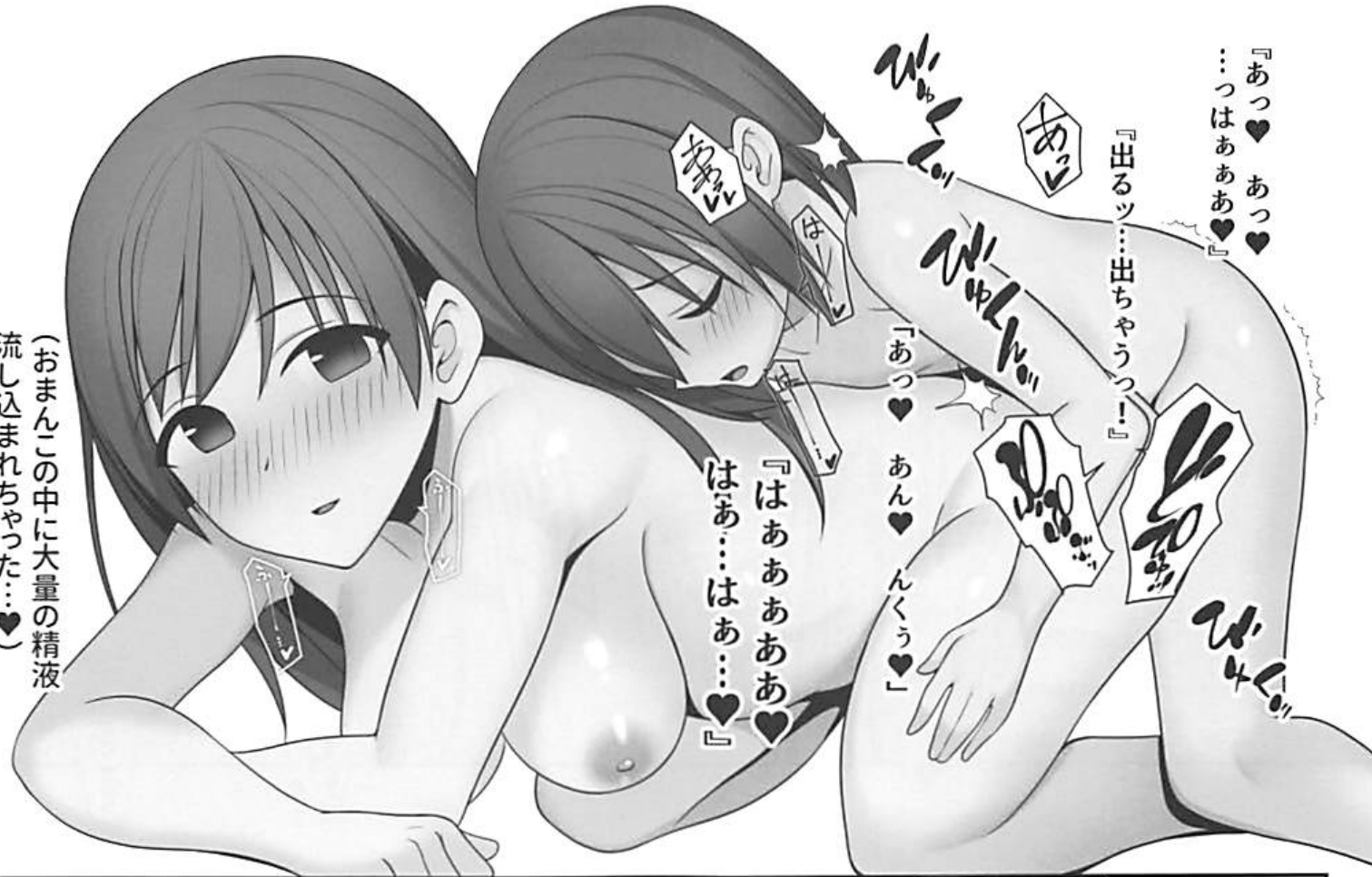
『すごく気持ちいいです…
熱くてちんちんとろけちゃいそう…』



「なにこれ…
こんな気持ちいいこと初めて…♥」

「もっと気持ちよくなりたいな♥
弟くんの好きなの動かしてみたい♥」

(おまんこの中に大量の精液
流し込まれちゃった…♡)



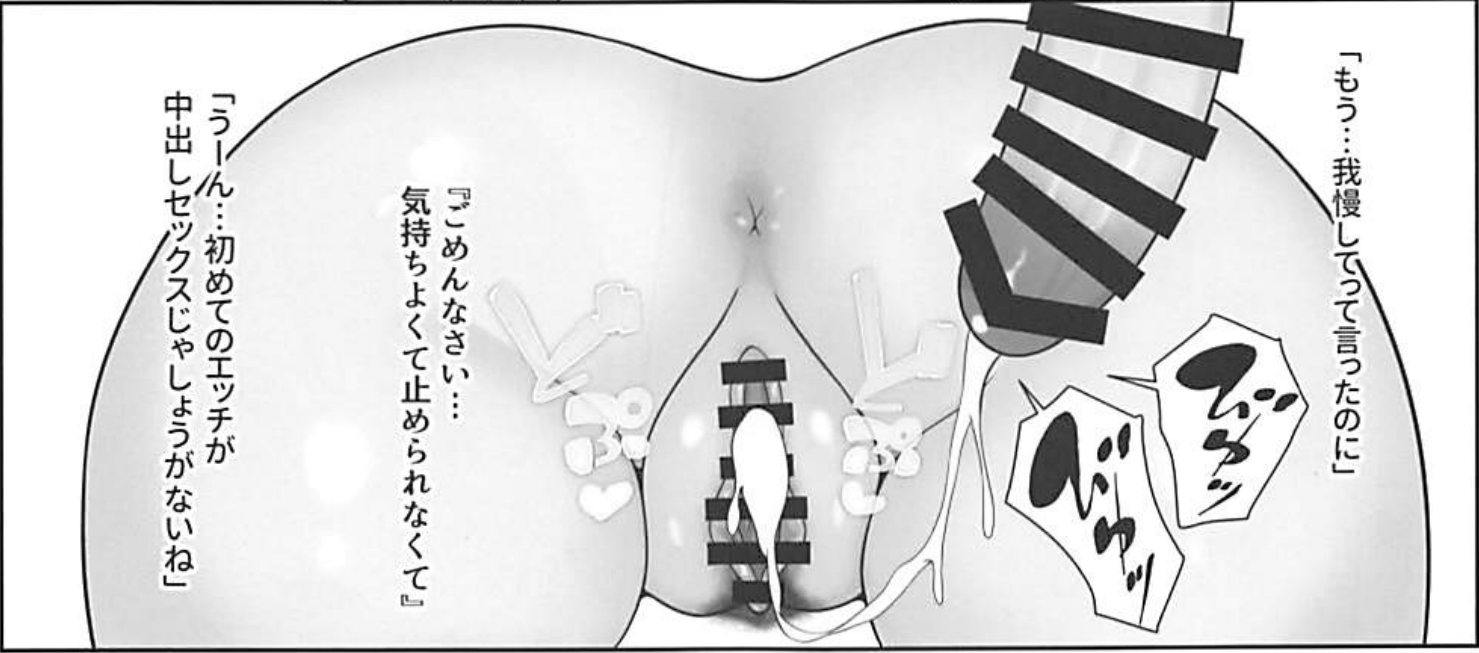
『あっ♡ あっ♡
…っはあああ♡』

『出るッ…出ちゃうっ!』

『あっ♡ あん♡ んくう♡』

『はあああああ♡
はあ…はあ…♡』

「もう…我慢してって言っただに」



『ごめんなさい…
気持ちよくて止められなくて』

「うーん…初めてのエッチが
中出しセックスじゃしょうがないね」

「それじゃもう一回やろうか♡」

『美波さんこれ以上はもう…』

「ダメ♡
女の子をちゃんと気持ちよくするのも
男の子の役目だよ♡」



こんにちは。柊はじめです。
お手にとっていただきありがとうございます。
この本はC93で出す予定だった美波のおねシヨタ本になります。
次はC94(夏コミ)にサークル参加します。
新刊は美波本とシャニマスの白瀬咲耶の本が出せたらと思っています。
pixivやtwitterもよければ覗いてやってください。
また是非どこかで新刊を手にとって頂けると嬉しいです。

【誌名】お姉ちゃんの友達は新田美波
【著者】柊はじめ
【発行元】Re:Cre@tors
【発行日】2018年6月17日
【連絡先】recreators1990@gmail.com
【印刷所】サンライズ
pixiv FACTORY BOOKS



お姉ちゃん
の友達
は
新田美波